

# 真珠養殖筏を利用したヒジキ養殖技術の開発

清水陽介・浜田雅浩・長田岩喜・森実庸男（愛南町）、細川時史・前田 浩（愛南漁協）、薬師寺房憲（愛媛県水産）、渡邊智久（株）山忠、橋 邦英・神野雅文（愛大）、三浦智恵美・三浦 猛（南水研）

## 1. なぜヒジキ養殖なのか？

愛南町では真珠母貝養殖が盛んに行われているのですが、近年の世界的な経済不況の影響を受け、真珠産業は非常に厳しい状況にあります。そこで私たちは、真珠母貝養殖の副業となり得る新たな養殖品種として、『ヒジキ』に注目し、ヒジキ養殖に挑戦することになりました。現在、国内で市販されているヒジキの約90%が中国や韓国などの外国産であり、国産ヒジキの生産量の増加が求められています。また、ヒジキ養殖は愛南町の海域に豊富に存在する真珠養殖筏を有効利用でき、養殖の時期が真珠母貝養殖の期間と重ならないため、低コストで効率的に副業養殖を開始することができます。

## 2. 愛南町海域でヒジキ養殖をするために・・・

ヒジキなどの海藻類の成長は、一般的に水温が低い方が良いと言われています。また、国内ではヒジキ養殖を行なっている例がほとんどありません。そこでまず、温暖な愛南町海域でヒジキ養殖は可能であるか、また、効率的な養殖方法などを調べる必要がありました。そこで我々は、平成21年度にヒジキの試験養殖を実施しました。

### ヒジキ養殖方法

#### ① 種苗の選別



良い  
悪い

葉が多く、色つやが良いものを選別します。種苗の良し悪しで生育に大きな差が出ます。

#### ② 種苗の挟み込み



苗を1箇所数株ずつ、間隔をあけてロープに挟み込んでいきます。

#### ④ 収穫・乾燥



収穫したヒジキを薄く広げ、2～3日間天日干しをし、パリパリに乾燥させます。

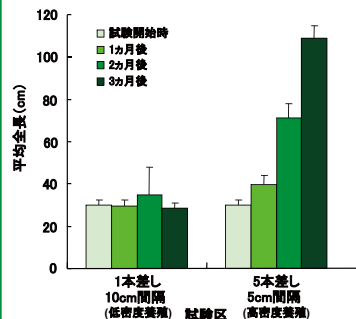
#### ③ ロープの張り込み



挟み込んだロープを、乾燥に注意しながら真珠筏に張り込んでいきます。

### 試験養殖結果

#### ヒジキ海面養殖 平均全長推移



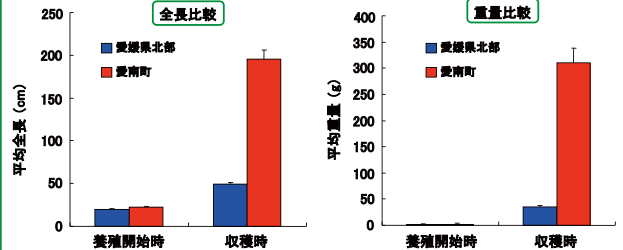
#### 低密度養殖



#### 高密度養殖



#### 海域別ヒジキ生育状況比較



愛南町海域はヒジキ養殖に適している！！

## 3. ヒジキの人工種苗生産技術の開発

現在、日本でのヒジキ養殖は、主に天然のヒジキ幼体を探取し、それを種苗として使用しています。しかし、天然のヒジキは限りがあるため、この方法で大規模養殖を行なうと、天然資源の枯渇を招く恐れがあります。そこで我々は、ヒジキの人工種苗生産技術の開発にも取り組んでいます。

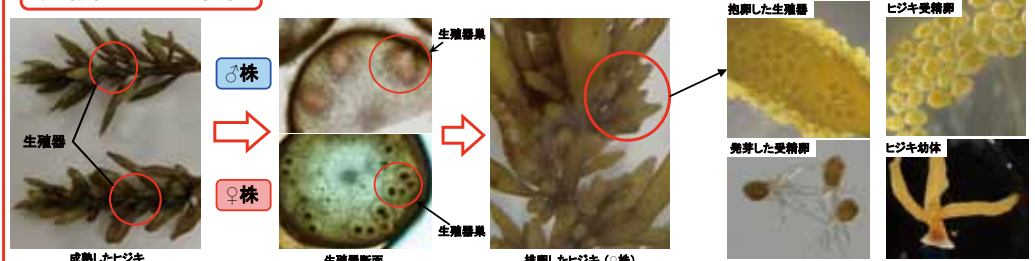
ヒジキ母藻



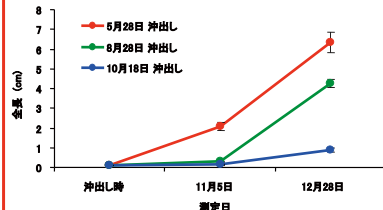
### 仮根からの繁殖



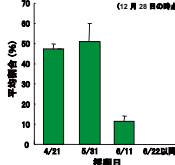
### 受精卵からの繁殖



#### 沖出し日別ヒジキ種苗生育状況比較



#### 採卵日別 5cm以上の種苗の割合 (12月28日 撮影)



早期採卵・早期沖出しにより、愛南町海域で種苗生産可能！！